

温室効果ガス排出量等報告書の概要（平成24年度実績分）

（施行規則第4条第1項第2号に規定する事業者[自動車運送事業者]）

番号	事業者名	所在地	日本標準産業分類		計画期間 (年度)	温室効果ガス排出量				抑制目標(対基準年度比)		実績(H24年度分)			温室効果ガスの排出の抑制を図るための主な取組	特記事項
			分類 番号	業種名		基準 年度	基準年度 排出量 (t-CO2)	目標 年度	目標年度 排出量 (t-CO2)	総排出 量の対 基準年 度比 (%)	原単位 排出量 の対 基準年 度比 (%)	実施年度 の総排 出量 (t-CO2)	総排出 量の対 基準年 度比 (%)	原単位 排出量 の対 基準年 度比 (%)		
1	ヤマト運輸株式会社	東京都中央区銀座2丁目16番10号	44	道路貨物運送業	H24 ~ H28 (5カ年)	H23	6,703	H28	6,502	97.0	—	6,403	95.5	—	・独自の車載システムSee-T-Naviを導入しエコドライブを推進	
2	羽後交通株式会社	秋田県横手市前郷二番町4番10号	43	道路旅客運送業	H24 ~ H26 (3カ年)	H23	7,683	H26	7,337	95.5	—	7,504	97.7	—	・エコ運転の指導教育の徹底	
3	第一貨物株式会社	山形県諏訪町二丁目1番20号	44	道路貨物運送業	H24 ~ H28 (5カ年)	H23	12,187	H28	11,578	95.0	95.0	11,347	93.1	99.8	・エネルギー使用量改善の目標設定 ・運転事故ゼロ・エコドライブ運転による社員教育の実施	
4	秋田中央交通株式会社	秋田県秋田市川元下町6番12号	43	道路旅客運送業	H24 ~ H26 (3カ年)	H23	8,286	H26	8,270	99.8	—	7,933	95.7	—	・アイドリグストップ車の導入	
5	秋北バス株式会社	秋田県大館市御成町1丁目11番25号	43	道路旅客運送業	H24 ~ H28 (5カ年)	H23	7,473	H28	7,238	96.9	—	7,853	105.1	—	<p>24年度は、当社が23年度に大館市にて展開した「バス&amp;ウォーク事業」について、事業におけるCO2削減量(みなし削減量)を明らかにすることで、本事業の効果を収益以外の面で定量的に表現し、利用者へ公開し、利用者は自己の取組による成果が把握でき、更なる利用促進へと繋がりました。</p> <p>その結果を受け、北秋田市、能代市また秋田県庁・観光文化スポーツ部から事業の拡大と開催を要請され、産学官が連携した事業を展開し地球温暖化防止に貢献する取り組みを行っております。</p> <p>「バス&amp;ウォーク事業」について マイカー社会の進展や少子化・過疎化の進行により乗合バス利用者は年々減少しており、路線の維持が大変厳しい状況にある。このため市民の日常生活に欠かすことの出せない用事に利用する「生活交通」をどう確保していくかが大きな課題である。</p> <p>これまで「乗車促進の為に個別訪問」や「路線バスで行くWEB観光マップ」などの様々な試みを行っております。バス&amp;ウォーク事業の一つ、「バス停一里塚大作戦」は自分が決めたバス停の数だけ歩いてダイエツ。降りた路線バスに乗り換えて歩くというバス停とバス停の間で、歩いた場合の消費カロリーがわかります。加えてクルマを使わなかった場合のCO2削減量もわかります。</p> <p>だからバス&amp;ウォークは、自分の健康と地球を考える、取組みを行っております。また、バスによるCO2排出量削減の取組としてエコ安全ドライブの推進やコンソーシアムでのCO2削減事業への実証に積極的に参加している。</p> <p>こうした取組を経て今後はバスでのCO2排出量の更なる低減を行い、マイカーと比較した際の優位性を確立し、マイカー利用から路線バスへの転換促進、地元企業へ「ノーマイカーデー」の推進と「バス&amp;ウォークへの理解」の足がかりとしたいと考えております。</p>	

※1 基準年度とは、原則として提出年度の前年度(ただし前年度の排出量が著しく変動した場合等の特別な事情がある場合は前年度以外を基準年度することが可能)。